



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日  
東

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所  
コード番号 7317 URL <https://matsuyard.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤秀隆  
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役CFO 経営管理部長 (氏名) 松川浩一 (TEL) 0779-66-2096(代表)  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,162	44.9	616	204.7	618	113.0	437	113.6
2023年3月期第2四半期	2,872	17.4	202	127.1	290	203.3	204	971.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 901百万円(33.7%) 2023年3月期第2四半期 674百万円(593.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	20.67	20.43
2023年3月期第2四半期	9.70	9.63

(注) 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,717	4,661	48.0
2023年3月期	8,743	3,775	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,661百万円 2023年3月期 3,775百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	1.25	1.25

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。2024年3月期の配当予想については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金は5円00銭となります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	7.5	860	40.6	840	24.4	630	48.0	29.80

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は119円18銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	21,169,600株	2023年3月期	21,127,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	712株	2023年3月期	712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	21,143,939株	2023年3月期2Q	21,103,904株

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「期末発行済株式数」「期末自己株式数」および「期中平均株式数」は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み、堅調な個人消費や設備投資、旺盛なインバウンド需要等により底堅く推移しました。一方、円安の進行やエネルギー・資源価格の上昇に起因した原材料・食料品等の度重なる値上げにより景気の下振れが懸念されます。海外に目を向けても中国における不動産市況の悪化に起因する経済成長鈍化やアメリカにおける金融引き締めによる景気後退懸念など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループではかねてより連結子会社であるMatsuya R&D (Vietnam)Co.,Ltd.において建設中の新工場が8月に完成し、9月8日の開所式から本格的に生産を開始しました。自社工場建設によりレンタル費用削減などコストダウンが図られるとともに、工場集約化や当社独自の生産管理システム導入により更なる生産性向上を進めてまいります。また、メディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯では、前期におけるコロナ禍の影響がなくなり、受注が堅調に推移しました。セイフティシステム事業における縫製自動機では、インド向けエアバッグ用設備等の受注により売上が増加しました。カーシート・エアバッグでは前期までのコロナの影響や半導体不足が概ね解消されたことなどを背景に自動車の生産台数が増加したほか、エアバッグについて新規得意先向け量産開始により受注が増加しました。

そのほか、リハビリロボット「Luna EMG」については首都圏、関西圏を中心にデモ機を貸出するなど、受注に向けた積極的な営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,162,857千円（前年同期比44.9%増）、営業利益616,575千円（前年同期比204.7%増）、経常利益618,888千円（前年同期比113.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は437,111千円（前年同期比113.6%増）となり、第2四半期連結累計期間の各利益は上場以来過去最高となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### (メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、前期までの中国におけるロックダウンや半導体不足の影響が概ね解消され、円安の進行と相まって、売上高は回復に向かいました。

以上の結果、売上高は2,848,188千円（前年同期比40.4%増）、セグメント利益は692,726千円（前年同期比67.8%増）となりました。

#### (セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業につきましては、インド向けに大型レーザー裁断機やエアバッグ関連メーカー向けの自動機を、ベトナム向けにシリコン塗布機などを納入しました。カーシート・エアバッグでは、主にエアバッグの新規得意先向けの生産が増加しました。

以上の結果、売上高は1,291,889千円（前年同期比54.6%増）、セグメント利益は61,991千円（前年同期はセグメント損失82,345千円）となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、売上高は22,779千円（前年同期比185.0%増）、セグメント利益は8,633千円（前年同期はセグメント損失3,290千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて464,850千円増加し、6,707,497千円となりました。これは主として、現金及び預金が307,435千円減少したことに対して、受取手形、売掛金及び契約資産が520,837千円、原材料及び貯蔵品が239,526千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて509,517千円増加し、3,010,408千円となりました。これは連結子会社 Matsuya R&D (Vietnam) Co., Ltd. の新工場が完成し旧工場から移転したことにより、建設仮勘定が1,601,138千円、使用権資産が105,640千円それぞれ減少し、建物及び構築物が1,267,065千円、土地が955,616千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて974,367千円増加し、9,717,906千円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,346,956千円減少し、3,073,336千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が178,081千円、1年内返済予定の長期借入金が104,628千円、未払金が163,582千円それぞれ増加したことなどに対して、短期借入金が1,620,000千円、未払法人税等が62,387千円、その他流動負債が124,076千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,434,726千円増加し、1,982,824千円となりました。これは短期借入金から切り替えた長期借入金1,503,730千円の増加が主要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて87,769千円増加し、5,056,160千円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,661,745千円と、前連結会計年度末に比べて886,598千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により26,408千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,779千円、為替換算調整勘定が464,335千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を437,111千円計上したことによるものであります。また、減資により資本金298,772千円をその他資本剰余金に振替えております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から48.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,011,473千円と、前連結会計年度末に比べ307,435千円減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は261,647千円（前年同四半期は32,626千円の獲得）となりました。

これは主として、売上債権の増加が402,508千円、棚卸資産の増加が168,752千円、法人税等の支払いが187,997千円あったことに対して、税金等調整前四半期純利益が618,888千円、減価償却費が162,062千円、賞与引当金の増加が29,138千円、仕入債務の増加が41,895千円、未払金の増加が145,919千円、未払又は未収消費税等の増減額が24,717千円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は546,139千円（前年同四半期は647,595千円の使用）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が531,438千円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は145,601千円（前年同四半期は1,174,216千円の獲得）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入が1,620,000千円あったことに対して、短期借入金の減少が1,620,000千円、配当金の支払いが26,384千円、リース債務の返済による支出が114,554千円あったことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、2023年10月17日付で公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益は、当第2四半期連結会計期間末現在、予定を上回って進捗しておりますが、今後の見通しについて顧客からの受注動向や事業環境等を含め精査しており、結果によって業績予想の変更が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,343,950	2,036,514
受取手形、売掛金及び契約資産	1,345,899	1,866,737
電子記録債権	5,491	—
商品及び製品	737,941	758,387
仕掛品	303,742	351,330
原材料及び貯蔵品	1,283,130	1,522,656
その他	222,491	171,870
流動資産合計	6,242,647	6,707,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	165,181	1,432,247
機械装置及び運搬具（純額）	73,087	100,174
土地	117,920	1,073,536
使用権資産（純額）	176,023	70,383
建設仮勘定	1,609,029	7,890
その他（純額）	257,639	242,023
有形固定資産合計	2,398,882	2,926,255
無形固定資産	4,645	10,561
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,434	1,029
その他	80,928	72,561
投資その他の資産合計	97,362	73,591
固定資産合計	2,500,891	3,010,408
資産合計	8,743,538	9,717,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,313	616,394
電子記録債務	147,879	129,929
短期借入金	2,570,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	20,412	125,040
未払金	789,812	953,395
未払法人税等	148,967	86,580
賞与引当金	29,975	61,140
その他	274,931	150,855
流動負債合計	4,420,292	3,073,336
固定負債		
長期借入金	28,160	1,531,890
退職給付に係る負債	125,547	132,840
繰延税金負債	7,399	48,511
その他	386,991	269,583
固定負債合計	548,098	1,982,824
負債合計	4,968,391	5,056,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	308,772	15,779
資本剰余金	201,124	505,676
利益剰余金	3,068,172	3,478,875
自己株式	△479	△479
株主資本合計	3,577,590	3,999,852
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	197,556	661,892
その他の包括利益累計額合計	197,556	661,892
純資産合計	3,775,147	4,661,745
負債純資産合計	8,743,538	9,717,906

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,872,997	4,162,857
売上原価	2,259,078	3,067,469
売上総利益	613,918	1,095,387
販売費及び一般管理費	411,567	478,812
営業利益	202,351	616,575
営業外収益		
受取利息	1,337	1,662
受取配当金	0	0
為替差益	100,539	34,414
その他	8,944	1,986
営業外収益合計	110,822	38,064
営業外費用		
支払利息	22,431	18,513
工場移転関連費用	—	15,749
その他	231	1,488
営業外費用合計	22,663	35,751
経常利益	290,510	618,888
税金等調整前四半期純利益	290,510	618,888
法人税、住民税及び事業税	75,017	124,741
法人税等調整額	10,808	57,035
法人税等合計	85,826	181,776
四半期純利益	204,684	437,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	204,684	437,111

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	204,684	437,111
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	469,499	464,335
その他の包括利益合計	469,499	464,335
四半期包括利益	674,183	901,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674,183	901,447

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	290,510	618,888
減価償却費	128,730	162,062
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,595	29,138
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,634	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,665	6,968
受取利息及び受取配当金	△1,338	△1,663
支払利息	22,431	18,513
為替差損益 (△は益)	△59,380	△4,935
売上債権の増減額 (△は増加)	86,235	△402,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△293,902	△168,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	△206,531	41,895
未払金の増減額 (△は減少)	124,556	145,919
未払又は未収消費税等の増減額	37,702	24,717
その他	△15,583	△1,895
小計	125,057	468,347
利息及び配当金の受取額	1,338	1,663
利息の支払額	△22,625	△20,365
法人税等の支払額	△71,144	△187,997
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,626	261,647
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,528	△20,528
定期預金の払戻による収入	13,928	13,928
有形固定資産の取得による支出	△640,765	△531,438
無形固定資産の取得による支出	△198	△8,071
その他	△31	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△647,595	△546,139
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,270,000	△1,620,000
長期借入れによる収入	—	1,620,000
長期借入金の返済による支出	△18,516	△11,642
配当金の支払額	△26,320	△26,384
セール・アンド・リースバックによる収入	21,594	—
リース債務の返済による支出	△72,711	△114,554
新株予約権の行使による株式の発行による収入	170	6,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,174,216	△145,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	89,552	122,657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	648,800	△307,435
現金及び現金同等物の期首残高	1,467,441	2,318,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,116,241	2,011,473

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

2023年6月29日開催の定時株主総会の決議に基づき、2023年7月14日付で減資の効力が発生したこと、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬による新株の発行が行われたことにより、当第2四半期連結累計期間において、資本金が292,993千円減少、資本剰余金が304,552千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が15,779千円、資本剰余金が505,676千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997	—	2,872,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,029,170	835,834	7,992	2,872,997	—	2,872,997
セグメント利益又は損失 (△)	412,782	△82,345	△3,290	327,146	△124,795	202,351

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	—	4,162,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,848,188	1,291,889	22,779	4,162,857	—	4,162,857
セグメント利益	692,726	61,991	8,633	763,352	△146,776	616,575

(注)1. セグメント利益の調整額△146,776千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。